

伊那西小 学校だより

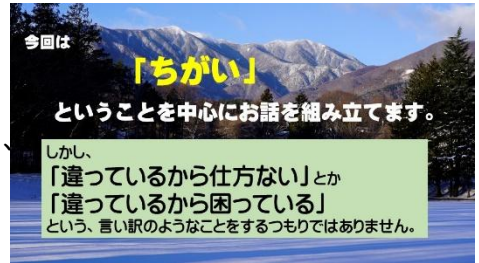
No11

令和8年2月25日
伊那西小学校
0265-72-2632

2月になり、学校では3月の6年生を送る会に向けて、子どもたちが練習する姿が見られるようになりました。児童会を5年生が6年生から引き継ぎ、明日は新児童会が発足となります。あと数日で3月を迎えます。卒業式に向けての学習がいよいよ始まります。

参観日での校長講話 2/13

本日も大勢の方にお集まりいただきありがとうございます。今日は1年間のまとめを持つ日かなと考えております。先ほど〇〇先生からアンケート結果について詳しくお話がありましたが、私からも校長という立場で学校としての公式見解をお話しさせていただきます。今回のアンケート結果を見ながら、テーマはやはり「違い」ということかなとずっと考えておりました。



ただ、間違えてほしくないのは、私自身を一生懸命守ろうとして「違っているから仕方ないよね」とか「違っていて困っているんですよ」という言い訳をしたいわけではありません。これからの伊那西小学校が、さらに良い学校になるために一緒に考える場になればいいなと思っております。

記述式の回答にあった、私たちが真摯に受け止めるべき厳しい意見をいくつか紹介します。

- ・ 特定の特性を持つ子を特別扱いすることで他の子の不満が溜まっている。保護者にも説明すべきだ。特性上仕方ない面があるとはいえ、行き過ぎではないか
- ・ 学区外の方が多くなり、本来の地域性が薄くなっているのが残念だ。林間などの行事は大事にしてほしい
- ・ 特性のある子が増えて先生方も大変だろうが、適正な人数を受け入れてきちんとやってほしい
- ・ 運動会がだらだらしている印象を受けた。保育園の方がしっかりやっている
- ・ 先生方の言葉遣いや態度で子供が傷ついている様子があるので見直してほしい
- ・ 以前はもっといい学校だったのに、この頃は先生が頭でっかちで、子どもをまとめようとする『おりこうさんな教育』になっていてつまらない。愛情を持って叱るというより、自分の立場を守るために言い聞かせているように感じる
- ・ 古い習慣の見直しやオルタナティブ教育の認知など、教育に対する観念を根本から見直すべき時期ではないか

これらを読みながら、私自身も辛さを感じますが、「ああ、そうだな」と具体的な姿が頭に浮かぶ部分もごさいます。一方で、「先生がよく見守ってくれる」「子どもが学校が楽しいと言っている」「大きなトラブルなく穏やかだ」といった温かいご意見もいただいており、その「違い」の上で学校としての考えをお話しします。



(視覚的なクイズを提示) この女性の絵、何歳ぐらいに見えますか？ 鼻と耳と目で向こうを向いている「若い女性」に見える人もいれば、ここが口でここが目だと見れば「おばあちゃん」に見える人もいます。この回転するシルエットも、右回りに見える人と左回りに見える人が半分半分ですね。これと同じで、同じ伊那西小学校を見ている、立場や見方によって感じられる「違い」は当然あります。どちらが良い悪いではなく、どちらも大事にしなければなりません。

世の中には、年齢、性別、時代、学校規模、個性や性格など、さまざまな違いがあります。また、保護者の皆様が受けてきた教育（場所や時期、規模）も、今の子どもたちが受けている教育とは違います。特に伊那西小は特認校として多様な地域から集まっています。違いがあるということは一つの現象であって、決して悪いことではないはずです。

「ちがい」って？

- 年齢による違い
- 男女による違い
- 時代による違い
- 学校規模による違い
- 個性、性格による違い
- 教師の違い（年齢・経験・性別）

「ちがう」
ことが
悪いわけでは
ないはず

保護者が受けた教育（場所・時期・規模・教育観）



11月人権月間
校長講話より

みんながちがうよさがあるなー

「平等」と「公平」の違いについて

平等 (Equality)



平等 (Equality) : 全員に全く同じ指導・同じ厳しさで接すること。

公平 (Equity)



公平 (Equity) : 一人ひとりの発達段階や特性に合わせて、必要な支援を行うこと。

小規模特認校として多様な児童を受け入れる中、私たちは「公平 (Equity)」を目指しています。しかし、それが時に「不公平 (Unfairness)」に見えてしまう現状があることも事実です。

アンケートで指摘された「不公平感」について。「平等」とは、全員に同じ高さの踏み台を貸すことです。でも、背の低い子はそれだと塀の向こうが見えません。「公平」とは、その子が塀の向こうを見えるように、必要な支援（踏み台の高さ）を変えることです。伊那西小学校は小規模特認校として、一人ひとりの発達段階や特性に合わせた「公平」な支援を目指しています。これが時に「特定の子だけズルい」という不公平に見えてしまう現状があることは、本当に申し訳なく、解決していかなければならない課題です。

そこで、来年度に向けて以下の体制を整えます。

1. 組織的なサポート：特別支援教育の支援員をさらにもう1名増員し、特定の職員に負担が集中しないようにします。
2. 教科担任制の導入：担任一人で抱え込まず、複数の先生で子どもたちを見る「教科担任制」をできる範囲で広げます。先生にも得意・不得意がありますし、子どもにとっても「逃げ場（相性の良い先生）」があることが大切だからです。
3. 特定の課題への対応：例えば、学年に女子が1人しかいないといった学級構成の悩みに対しても、来年度は人員を工夫して、その子が孤独にならないような対策を講じます。
4. 「限度」の明示：特性への配慮は「何でも許される」ことではありません。集団生活のルールとして守るべきラインは、毅然と指導していきます。

伊那西小学校を、かつての「少数で静かな学校」に戻すのではなく、多様な個性が響き合う「新しい価値を持つ学校」にしていきたいと考えています。そのためには、家庭の協力も欠かせません。学校では「自分は優しい」と思っている子が多いので、ぜひお家でも「今日は誰かに優しくできた？」と聞いてあげてください。また、スマホや動画についても、ただダラダラ見るのではなく、使い道を一緒に考えていただければと思います。

最近も地域の方が雪を掻いてくださり、おばあちゃんがお孫さんの重いカバンを持って坂道を登ってくる姿を見ました。こうした地域や保護者の皆様の支えがあってこそこの学校です。お寄せいただいた厳しい意見も、職員みんなで共有しました。うまくいくことばかりではないかもしれませんが、子どもたちがこの伊那西小で元気に育ち、将来の日本を支えていく子になってほしいという願いは共通です。本日は長い時間、ありがとうございました。

🌟 1月後半～2月の授業風景 🌟



【5・6年生】性教育講演会で、講師として〇〇先生をお招きしました。子どもたちは、生命が誕生するまでのしきみを学習し、自分たちが生まれてくることができた奇跡や、生命誕生の尊さを学ぶことができた様子でした。



【5・6年生】性被害防止教育として、スクールサポーターの〇〇さんにご来校いただきました。最近SNSで見知らぬ人とやり取りをしたことが原因で犯罪に巻き込まれるケースが多く、その恐ろしさについて教えていただきました。



【1年生】「空に飛ばしたい自分の好きなもの」というテーマで、凧あげの凧を作りました。ロケットや鳥、雲など、様々なデザインの凧が校庭の空を飛びました。

【2年生】「すてきなところをつたえよう」という学習で友だちのすてきなところを手紙に書き、交換しました。

【3年生】折り紙で飾りづくりをしているところです。相手が喜んでくれるようにと難しい折り方に挑戦しています。



【4年生】国語「調べて話そう、生活調査隊！」の学習で、全校にアンケートをとり、まとめたことをどのように伝えようか、わかりやすいかみんなで考え合っています。



【5年生】有賀製材所に見学に行きました。林間で伐採された木がどのようにして材木になるのか、見学や体験をさせていただきました。



【6年生】音楽で日本文化を学ぶため、琴の先生方にご来校いただき、全員が体験をすることができました。

読み聞かせありがとうございました



2月5日(木)に読み聞かせボランティアさんによる本年度最後の「読み聞かせ」がありました。子どもたちは本が好きです。自分で読むことも好きですが、こうして読み聞かせいただくことも大好きです。素晴らしい本、素晴らしい時間をありがとうございました。保護者の皆様、地域の皆様の中で読み聞かせにご興味のある方がいらっしゃいましたら、学校までご連絡ください。来年度も、5月より読み聞かせが始まる予定です。

お知らせとお願い

<3月14日卒業証書授与式について>

来賓の皆様にもご来臨いただき、14名の6年生の卒業を一緒にお祝いいただきます。大変ありがたいことと思っております。

卒業式当日、2～5年生は集団登下校です。登校は8:00～8:10までに、下校は12:00の予定です。

<令和8年4月の主な行事予定について *現時点の予定です。今後、変更があるかもしれません。>

4月6日(月) 始業式・入学式

23日(木) 6年全国学力学習状況調査

17日(金) 参観日・PTA総会・学年PTA 22日(水)～24日(金) 家庭訪問